

◆今号は、それぞれに季節を感じさせる作品がそろっている。長く暑い夏をなんとか過ごし、秋への思いが詰まっているようだ。大橋さんの短歌作品の二首目は、猛暑の続いた七月下旬、山形県米沢市で部活動後の下校中に道路で倒れ、搬送されたあと死亡した女子中学生のことではないかと思う。この痛ましいニュースを静かに思い出させる歌だ。

自分の作品、「研ぎ」に関連して少し紹介したい。調べてみると、群馬県桐生市は、かつて「西の西陣、東の桐生」と称されたほどの織物のまちであった。なるほど、それで生地を切る鋏の研ぎの技術も発達したわけだ。一方、地元の山形市はどうかというと、銅町の地名があつて果樹や樹木の剪定用の鋏については研ぎ屋が何軒もあるが、裁ち鋏などは得意としていない（米沢市にはあるかもしれないが）。このたび依頼した桐生市の研ぎ屋さんは値段も良心的だったので、知人に頼まれた花鋏やら昔いただいた刺繍鋏やら何丁か送って、二度もお願いすることになった。連絡先等は以下のとおり。

（布宮慈子）

鈴木とぎや刃物店 <http://www.suzuki-togyajp/index.html>

# muninokai.com

上記のサイトでは、フルカラーのオンライン版「展景」を公開しています。  
61号からのバックナンバーも読むことができます。

季刊 展景 111号

二〇二三年十月三十日 発行

編集・発行人 布宮慈子

制作 スタジオ・マージン

無二の会「展景」発行所

山形市上町二―一―七―二〇二

[info@muninokai.com](mailto:info@muninokai.com)